

2026 年度

麗澤大学大学院入学試験要項

言語教育研究科	日本語教育学専攻【修士課程】
経済研究科	経営学専攻【修士課程】 / 経済学・経営学専攻【博士課程】
学校教育研究科	道德教育専攻【修士課程】

麗澤大学大学院

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1 生涯教育プラザ棟 1 階

Mail: daigakuin-ka@reitaku-u.ac.jp

麗澤大学大学院事務室

目 次

言語教育研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

アドミッションポリシー・出願から入学手続きまでの流れ・・・ 2

1. 専攻および入学定員
2. 選抜区分および募集人員
3. 入学試験日
4. 出願資格
5. 選抜方法
6. 入学試験 時間割
7. 入学金減免制度
8. その他

言語教育研究科出願書類一覧・・・・・・・・・・・・・・ 10

経済研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

アドミッションポリシー・出願から入学手続きまでの流れ・・・ 12

修士課程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

1. 専攻および入学定員
2. 選抜区分および募集人員
3. 入学試験日
4. 出願資格
5. 選抜方法
6. 入学試験 時間割
7. その他

博士課程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

1. 専攻および入学定員
2. 選抜区分および募集人数
3. 入学試験日
4. 出願資格
5. 選抜方法
6. 入学試験 時間割

経済研究科出願書類一覧・・・・・・・・・・・・・・ 18

学校教育研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

アドミッションポリシー・出願から入学手続きまでの流れ・・・ 20

1. 専攻および入学定員
2. 選抜区分および募集人員
3. 入学試験日
4. 出願資格
5. 選抜方法
6. 入学試験 時間割

学校教育研究科出願書類一覧・・・・・・・・・・・・・・ 25

言語教育研究科・経済研究科・学校教育研究科 共通事項・・・・・・・・ 26

出願について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

1. 出願書類
2. 長期履修制度について
3. 研究生併願について
4. 入学検定料の振り込み
コンビニエンスストア・クレジットカード・Pay-easy(ペイジー)での入学検定料支払方法

試験・合格発表について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

1. 試験会場
2. 受験上の注意
3. 合格発表

入学手続きについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

1. 入学手続
2. 入学辞退と納入金の返還
3. 2026年度学校納金

入学資格審査について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

1. 入学資格審査の出願について
2. 審査方法、審査結果の通知について

研究生制度について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

1. 出願資格について
2. 研究生制度の概要
3. 出願について

本学所定用紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 巻末

言語教育研究科

【日本語教育学専攻】

修士課程

アドミッション・ポリシー・・・・・・・・・・ 2
出願から入学手続きまでの流れ

1. 専攻および入学定員・・・・・・・・・・ 3
2. 選抜区分および募集人員
3. 入学試験日
4. 出願資格
5. 選抜方法
6. 入学試験 時間割
7. 入学金免除制度

言語教育研究科出願書類一覧・・・・・・・・・・ 10

【出願にあたっての注意点】

- 出願の際には出願資格をよくご確認ください。
- 出願資格が満たされていない場合、および書類に不備がある場合は、出願は受け付けられません。その場合、受験料および書類の返却はできませんので、出願の際は十分にご注意ください。
- 今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況や政府の方針によっては、要項記載の内容に変更が生じる場合があります。変更が生じた場合は、本学ウェブサイトにてすみやかにお知らせしますので、出願にあたっては、必ず本学ウェブサイトに掲載された最新情報をご確認ください。

【言語教育研究科 アドミッション・ポリシー】

1. 言語・文化とその教育について明確な問題意識を持ち、言語・文化について客観的・実証的に考える基礎的な知識と能力を有する者
2. 学修・研究を進める上で必要な言語能力（外国語能力を含む）と、他者の考えを尊重しつつ自分の考えを論理的に表現できるコミュニケーション能力を有する者
3. 研究を通じて身に付けた能力と見識を最大限に活用し、専門家としての社会的責任を果たす意思を有する者

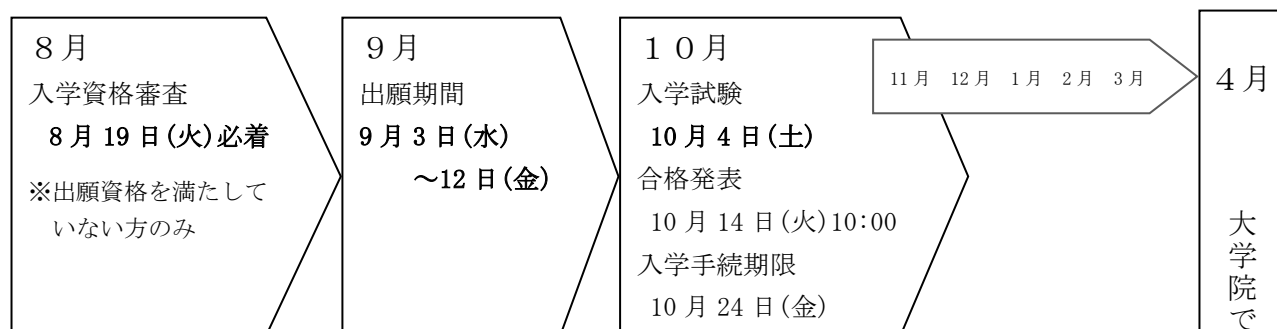
上記に必要な資質の判定のために、試験を実施し、総合的に入学者として相応しいと認められた者に入学資格を与えます。

【出願から入学手続きまでの流れ】

<Ⅰ期入試>

2025年

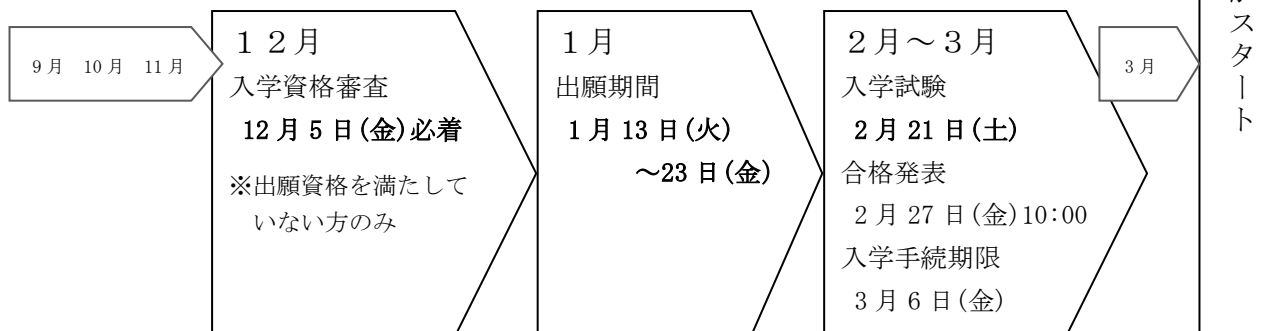
2026年



<Ⅱ期入試>

2025年

2026年



1. 専攻および入学定員

専攻名	入学定員
日本語教育学専攻	6名

2. 選抜区分および募集人員

選抜区分		募集人数
Ⅰ期入試	学内特別推薦A（日本語教育プロフェッショナルコース）	約6名
	一般（学内・学外）※1	
	社会人※1	
Ⅱ期入試	学内特別推薦B（2年修了コース／面接型）	
	学内特別推薦C（2年修了コース／筆記・面接型）	
	卒業生特別推薦	
	学外特別推薦	
	一般（学内・学外）※1	
	社会人※1	

※1 海外在住者については、Ⅰ期のみ出願が可能。

3. 入学試験日

Ⅰ期入試	2025年10月4日（土）
Ⅱ期入試	2026年2月21日（土）

4. 出願資格

【学内特別推薦A（日本語教育プロフェッショナルコース）】

次の（１）～（６）のすべてを満たす者。

※日本語を第１言語としない者（外国人留学生、外国籍等）の場合、これに加えて（７）と（８）も満たす者。

- （１）麗澤大学外国語学部及び国際学部国際学科４年次生で、本専攻を第一志望とし、Ⅰ期に出願できる者。
- （２）出願時の成績について、全履修科目の７割以上でＡ評定以上、または、ＧＰＡ（累積）が２．５以上の者。
- （３）学部４年次に日本語教育プロフェッショナルコースにエントリーが認められ、指定されたゼミナールにおいて研究指導を受けている者。
- （４）日本語教員養成課程・主コース（日本学・国際コミュニケーション専攻以外の学生の場合は日本語教員養成課程副コースでも可）修了（見込み）の者。または、日本語教育能力検定試験に合格している者。
- （５）修了後の進路に明確なプランのある者。

(6) 所属学部長が推薦する者。

(7) 日本語能力試験 N1 合格、または J. TEST 実用日本語検定 A-C レベル試験 700 点以上の者。

※中学生以前から日本で学校教育を受けている者は、上記の認定書や証明書等の提出が不要の場合がありますので、出願期間前（Ⅰ期/2025 年 8 月 19 日、Ⅱ期/2025 年 12 月 5 日）までに麗澤大学大学院事務室（Mail: daigakuin-ka@reitaku-u.ac.jp）に申し出てください。

(8) 日本国以外の国籍を有する場合は、本大学院生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格を取得または更新できる者。

※「日本語教育プロフェッショナルコース」の受験者の場合、「日本語教育プロフェッショナルコース」と「2 年修了コース」との両方で合否判定を行う。日本語教育プロフェッショナルコースで不合格の場合でも、通常 2 年修了コースで合格となる場合がある。（「2 年修了コース」での受験者は、通常の 2 年コースのみで合否判定を行う）

【一般（学内・学外）】

次の（１）と（２）を満たす者。

※日本語を第 1 言語としない者（外国人留学生、外国籍等）の場合はこれに加えて（３）（４）も満たす者。

（１）次の各号のいずれかに該当する者。

- ① 学校教育法に定める大学を卒業した者又は学士の学位を授与された者あるいは令和 8（2026）年 3 月大学卒業見込みの者。
- ② 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者あるいは令和 8（2026）年 3 月までに修了見込みの者。
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者あるいは令和 8（2026）年 3 月までに修了見込みの者。
- ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者あるいは令和 8（2026）年 3 月までに修了見込みの者。
- ⑤ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者。
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者あるいは令和 8（2026）年 3 月までに修了見込みの者。
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者。
- ⑧ 大学に 3 年以上在学した者、外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修

了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。

- ⑨ 本大学院において、別に定める入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者。(注)
- (2) 国内外の教育機関において、言語学・日本語学・日本語教育学に関係する科目を合計 2 科目以上履修している者。
- (3) 日本語能力試験 N1 合格、または J. TEST 実用日本語検定 A-C レベル試験 700 点以上の者。
※中学生以前から日本で学校教育を受けている者は、上記の認定書や証明書等の提出が不要の場合がありますので、出願期間前（Ⅰ期/2025 年 8 月 19 日、Ⅱ期/2025 年 12 月 5 日）までに麗澤大学大学院事務室（Mail: daigakuin-ka@reitaku-u.ac.jp）に申し出てください。
- (4) 日本国以外の国籍を有する場合は、本大学院生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格を取得または更新できる者。

【社会人】

次の（１）と（２）を満たす者。

※日本語を第 1 言語としない者（外国人留学生、外国籍等）の場合はこれに加えて（３）と（４）も満たす者。

(1) 次の各号のいずれかに該当する者。

- ① 学校教育法に定める大学を卒業した者又は学士の学位を授与された者。
- ② 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者。
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者。
- ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
- ⑤ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者。
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者。
- ⑧ 大学に 3 年以上在学した者、外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣

が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。

⑨ 本大学院において、別に定める入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者。（注）

(2) 大学を卒業し、国内外の教育機関において実質6ヶ月以上の日本語教育歴を有する者。

(3) 日本語を第1言語としない者（外国人留学生、外国籍等）の場合は、日本語能力試験 N1 合格、または J. TEST 実用日本語検定 A-C レベル試験 700 点以上の者。ただし、非漢字圏出身者の場合、面接等で N1 合格、または J. TEST 実用日本語検定 A-C レベル試験 700 点以上相当の日本語力があると認められれば、出願可とすることがある。

※中学生以前から日本で学校教育を受けている者は、上記の認定書や証明書等の提出が不要の場合がありますので、出願期間前（Ⅰ期/2025年8月19日、Ⅱ期/2025年12月5日）までに麗澤大学大学院事務室（Mail: daigakuin-ka@reitaku-u.ac.jp）に申し出てください。

(4) 日本国以外の国籍を有する場合は、本大学院生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格を取得または更新できる者。

【学内特別推薦 B（2 年修了コース／面接型）】

以下の（1）～（5）のすべてを満たす者。

※日本語を第1言語としない者（外国人留学生、外国籍等）の場合、これに加えて（6）と（7）も満たす者。

(1) 麗澤大学外国語学部及び国際学部国際学科の4年次生で、本専攻を第一志望とし、Ⅱ期に出願できる者。

(2) 出願時の成績について、全履修科目の7割以上でA評定以上を得た者。または、GPA（累積）が2.5点以上の者。

(3) 日本語教員養成課程・主コース（日本学・国際コミュニケーション専攻以外の学生の場合は日本語教員養成課程副コースでも可）修了（見込み）の者。または、日本語教育能力検定試験に合格している者。

(4) 修士課程修了後の進路に明確なプランのある者。

(5) 所属学部長が推薦する者。

(6) 日本語能力試験 N1 合格、または J. TEST 実用日本語検定 A-C レベル試験 700 点以上の者。

ただし、非漢字圏出身者の場合、日本語能力試験 N2 合格で、且つ、GPA（累積）3.0 以上であれば、N1 不合格、または J. TEST 実用日本語検定 A-C レベル試験 700 点未満でも可とする。

※中学生以前から日本で学校教育を受けている者は、上記の認定書や証明書等の提出が不要の場合がありますので、出願期間前（Ⅰ期/2025年8月19日、Ⅱ期/2025年12月5日）までに麗澤大学大学院事務室（Mail: daigakuin-ka@reitaku-u.ac.jp）に申し出てください。

(7) 日本国以外の国籍を有する場合は、本大学院生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格を取得または更新できる者。

【学内特別推薦 C（2 年修了コース／筆記・面接型）】

以下の（1）～（4）の条件を全て満たす者。

※日本語を第1言語としない者（外国人留学生、外国籍等）の場合、これに加えて（5）と（6）も満たす者。

(1) 麗澤大学外国語学部及び国際学部国際学科の4年次生で、本専攻を第一志望とし、Ⅱ期に出願

できる者。

- (2) 出願時の成績について、G P A（累積）が 3.0 点以上の者。
 - (3) 修士課程修了後の進路に明確なプランのある者。
 - (4) 所属学部長が推薦する者。
 - (5) 日本語能力試験 N1 合格、または J. TEST 実用日本語検定 A-C レベル試験 700 点以上の者。
- ただし、非漢字圏出身者の場合、日本語能力試験 N2 合格でも可とする。

【卒業生特別推薦】

以下の (1) ～ (4) の条件を全て満たす者。

※日本語を第 1 言語としない者（外国人留学生、外国籍等）の場合、これに加えて (5) と (6) も満たす者。

- (1) 麗澤大学卒業生であり、本専攻を第一志望とする者。
- (2) 日本語教員養成課程・主コース（日本学・国際コミュニケーション専攻以外の学生の場合は日本語教員養成課程副コースでも可）修了の者。または、日本語教育能力検定試験に合格している者。
- (3) 国内外の教育機関において実質 6 ヶ月以上の日本語教育歴を有する者。
- (4) 在学時の指導教員（卒業研究担当教員）、所属学部及び専攻の長、その他本学専任教員が推薦する者。
- (5) 日本語を第 1 言語としない者（外国人留学生、外国籍等）の場合は、日本語能力試験 N1 合格、または J. TEST 実用日本語検定 A-C レベル試験 700 点以上の者。

※中学生以前から日本で学校教育を受けている者は、上記の認定書や証明書等の提出が不要の場合がありますので、出願期間前（Ⅰ期/2025 年 8 月 19 日、Ⅱ期/2025 年 12 月 5 日）までに麗澤大学大学院事務室（Mail: daigakuin-ka@reitaku-u.ac.jp）に申し出てください。

- (6) 日本国以外の国籍を有する場合は、本大学院生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格を取得または更新できる者。

【学外特別推薦】

次の (1) と (2) を満たす者。

※日本語を第 1 言語としない者（外国人留学生、外国籍等）の場合、これに加えて (3) も満たす者

- (1) 次の各号のいずれかに該当する者。
 - ① 学校教育法に定める大学を卒業した者又は学士の学位を授与された者。
 - ② 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者。
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者。
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
 - ⑤ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者。

- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者。
- ⑧ 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。
- ⑨ 本大学院において、別に定める入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者。（注）
- （2）公的な奨学金等を得て研究を行う者で、特別研究担当教員より受入れの承諾を得られる者。
- （3）日本国以外の国籍を有する場合は、本大学院生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格を取得または更新できる者。

注）短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者、外国における3年制の大学、専科学校卒業等で学校教育における16年の課程に満たない場合であっても、本研究科における個人の能力に対する個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で22歳に達した者については、出願することができます。該当者は、出願前に個別の入学資格審査を受けることが必要となります。詳細は36ページを参照してください。

5. 選抜方法

【学内特別推薦 A（日本語教育プロフェッショナルコース）

学内特別推薦 C（2年修了コース/筆記・面接型）】

選抜方法	備 考
筆記試験	日本語教育学に関する専門知識を問うもの。日本語で記述する。
面 接	主として出願書類に関連した内容について、日本語で行う。
書類審査	研究計画書、成績証明書等。

【学内特別推薦 B（2年修了コース/筆記・面接型）、卒業生特別推薦、学外特別推薦、社会人】

選抜方法	備 考
面 接	主として出願書類に関連した内容について、日本語で行う。
書類審査	研究計画書、成績証明書、推薦書等。

【一般（学内・学外）】

選抜方法	備 考
筆記試験	- 語学能力（英語／日本語）を問うもの。 日本語を第 1 言語とする者は英語問題、日本語を第 1 言語としない者は英語または日本語の問題のどちらかを選択して解答。 - 日本語教育学に関する専門知識を問うもの。日本語で記述する。
口述試験	主として研究計画書および筆記試験に関連した内容について、日本語で行う。
書類審査	研究計画書、成績証明書等。

6. 入学試験 時間割（予定）

9 : 50～10 : 00	10 : 00～11 : 00	12 : 30～
諸 連 絡	筆 記 試 験	口 述 試 験 ※ ¹

※1 口述試験の時間割については、当日試験場にて連絡します。

※上記の試験時間から変更する場合があります。

正式な試験時間については、本学から返送された受験票に記載いたします。

※学内特別推薦 B（2 年修了コース筆記・面接型）、卒業生特別推薦、学外特別推薦、社会人入試は、12 : 30 より口述試験を開始しますので、12 : 00 までに受付を終えてください。

7. 入学金免除制度

「卒業生特別推薦」選抜に合格した者のうち、毎年 1 名の入学金を免除します。
該当者には合格通知と合わせてご連絡します。

8. その他

不正行為等が発覚し、学内推薦にふさわしくないと本研究科が判断した場合、入試の合格を取り消すことがある。

言語教育研究科 出願書類一覧

※◎は巻末綴込の本学所定用紙

書 類	対象者	注意事項
◎ 入学志願票	全 員	日本国以外の国籍の人は、「外国人留学生等」の入学志願票にて出願してください。
◎ 受験票	全 員	・太線で囲まれた箇所をもれなく記入してください。 ・写真票には最近3カ月以内に撮影した写真（カラー・白黒を問わない）を貼付してください。
◎ 写真票	全 員	
振り込み証明書または 収納証明書	全 員	・銀行振り込みの場合：振込証明書を同封してください ・銀行以外で支払いの場合：32 ページ記載の通り、A4 の普通紙に印刷した「収納証明書」を同封してください。
◎研究計画書	全 員	・入学志願理由は、修了後の日本語教育を活かした具体的な進路を書くこと。 ・研究計画書に記入する内容を別途作成する場合は、所定用紙に「別紙参照」と記入して添付してください。別紙は片面印刷にしてください。
成績証明書 ※必ず原本を提出	全 員	・出身大学の学部成績証明書。 ・大学院修了（見込）者は大学院の成績証明書も併せて提出してください。
卒業（見込）証明書/ 修了（見込）証明書 ※必ず原本を提出	全 員	・出身大学の卒業証明書または卒業見込証明書。 ・大学院修了（見込）者は大学院の修了（見込）証明書も併せて提出してください。
在職証明書または 職歴証明書 ※必ず原本を提出	社会人選抜	国内外の教育機関における実質6ヶ月以上の日本語教育歴を証明する書類を提出してください。
住民票	外国人留学生/外国籍等	・在留資格が確認できる形式のものを提出してください。（省略との記載は不可） ・海外在住者または短期滞在者は、パスポートのコピーを提出してください。
◎履修科目確認書	一般選抜	国内外の教育機関（養成講座等を含む）において履修したことのある言語学・日本語学・日本語教育学に関係する科目を記入してください。
日本語能力を証明する 書類	外国人留学生/外国籍等	日本能力試験N1あるいはJ.TEST実用日本語検定A-Cレベルの認定書、または認定結果及び成績に関する証明書を提出してください（コピー可）。
大学院入学資格認定書	入学資格審査認定者	・本学大学院入学資格審査を受けて認定された人は、本学から送付した「大学院入学資格認定書」を提出してください。 ・過去に発行した上記の認定書が手元にない場合は、大学院事務室に申請してください。
◎推薦書	学内特別推薦A選抜 学内特別推薦B選抜 学内特別推薦C選抜 卒業生特別推薦	推薦者への依頼は、出願期間前に余裕をもって行ってください。
奨学金等の証明	学外特別推薦	奨学金団体が発行する証明書。受給団体、受給者、受給期間、受給金額等が確認できるものを提出してください。
◎長期履修申請書	長期履修希望者	
◎長期履修計画書	長期履修希望者	
在職等を証明する書類	長期履修希望者	

※中国での学歴等を証明する公証書は書類原本として認めません。

経済研究科入学試験要項

【経営学専攻】（修士課程）

【経済学・経営学専攻】（博士課程）

アドミッションポリシー・・・・・・・・・・ 12

出願から入学手続きまでの流れ

修士課程・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

1. 専攻および入学定員
2. 選抜区分および募集人員
3. 入学試験日
4. 出願資格
5. 選抜方法
6. 入学試験 時間割

博士課程・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

1. 専攻および入学定員
2. 選抜区分および募集人員
3. 入学試験日
4. 出願資格
5. 選抜方法
6. 入学試験 時間割

経済研究科出願書類一覧・・・・・・・・・・ 18

【出願にあたっての注意点】

- 出願の際には出願資格をよくご確認ください
- 出願資格が満たされていない場合、および書類に不備がある場合は、出願は受け付けられません。その場合、受験料および書類の返却はできませんので、出願の際は十分にご注意ください。
- 今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況や政府の方針によっては、要項記載の内容に変更が生じる場合があります。変更が生じた場合は、本学ウェブサイトにてすみやかにお知らせしますので、出願にあたっては、必ず本学ウェブサイトに掲載された最新情報をご確認ください。

【 経済研究科 アドミッション・ポリシー 】

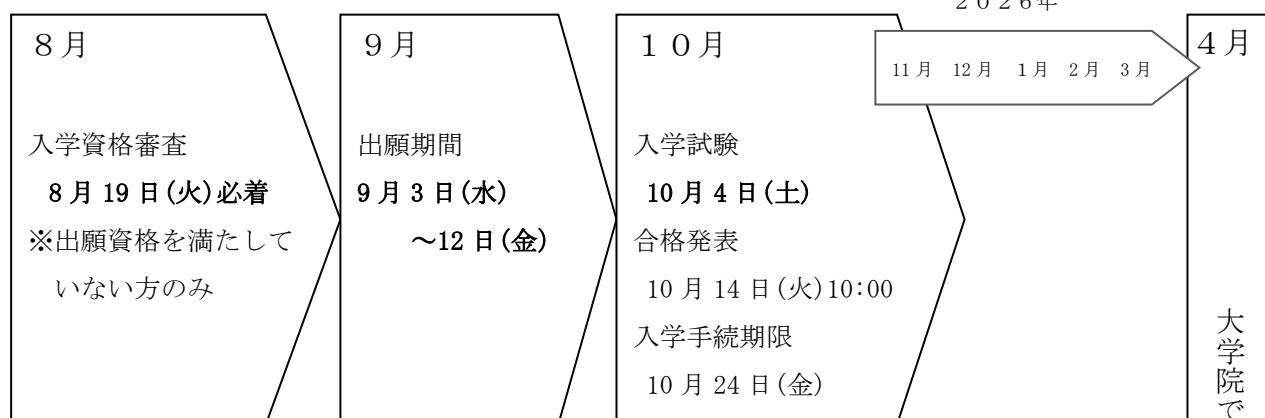
1. 本学の基本理念である道徳・倫理観の涵養の重要性を理解し、関心を有する者
2. 論理的・合理的な考え方をする基本ができている者
3. 経営学の基本的知識・方法論を有する者
4. 現実の企業経営や組織現象に関する問題意識をもち、課題発見・解決能力を有する者
5. 種々のステークホルダーの福利増進という視点で、経営上の問題を論じる能力を有する者
6. 学修・研究を進める上で必要な語学力・コミュニケーション能力を有する者

上記に必要な資質の判定のために、試験を実施し、総合的に入学者として相応しいと認められた者に入学資格を与えます。

【出願から入学手続きまでの流れ】

<修士課程・博士課程Ⅰ期入試>

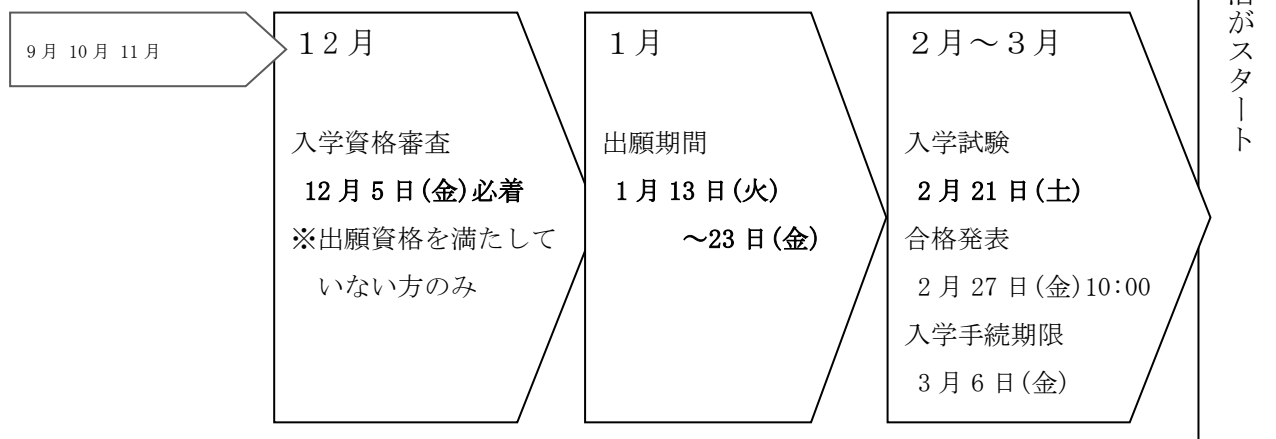
2025年



<修士課程・博士課程Ⅱ期入試>

2025年

2026年



修士課程

1. 専攻および入学定員

専攻名	入学定員
経営学専攻	10名

2. 選抜区分および募集人員

選抜区分		募集人数
Ⅰ期入試	一般 ※2	約7名
	特別推薦 ※1 ※2	
Ⅱ期入試	一般	約3名
	特別推薦 ※1	

※1 次の（１）および（２）を満たす者

（１）本学経済研究科を第一志望とする者

（２）次のいずれかを満たす者

①本学の学部4年次生在籍者で、各種資格を取得することによって同学部から推薦される者

②本学の学部4年次生在籍者で、出願時の通算のGPAが2.5以上であり、同学部から推薦される者

※2 海外在住者についてはⅠ期のみ出願が可能

3. 入学試験日〔一般選抜・特別推薦選抜 共通〕

Ⅰ期入試	2025年10月4日（土）
Ⅱ期入試	2026年2月21日（土）

4. 出願資格

【一般選抜】

次の（１）を満たす者。外国人留学生については（１）と（２）を満たす者。

（１）次の各号のいずれかに該当する者

①学校教育法に定める大学を卒業した者又は学士の学位を授与された者あるいは令和8（2026）年3月大学卒業見込みの者

②外国において、学校教育における16年の課程を修了した者あるいは令和8（2026）年3月までに修了見込みの者

③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者あるいは令和8（2026）年3月までに修了見込みの者

④我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者あるいは令和8（2026）年3月までに修了見込みの者

⑤外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

⑥専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者あるいは令和8（2026）年3月までに修了見込みの者

⑦文部科学大臣の指定した者

⑧大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの

⑨本大学院において、別に定める入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの（注）

（2）日本国以外の国籍を有する者は、本大学院生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格を取得または更新できる者

（注）短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者、外国における3年制の大学、専修学校卒業等で学校教育における16年の課程に満たない場合であっても、本研究科における個人の能力に対する個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で22歳に達した者については、出願することができます。該当者は、出願前に個別の入学資格審査を受けることが必要となります。詳細は36ページを参照してください。

【特別推薦選抜】

次の（1）～（3）を満たす者

（1）本学経済研究科修士課程を第一志望とする者

（2）[一般選抜]の出願資格を有する者

（3）次のいずれかを満たす者

①本学の学部4年次生在籍者で、各種資格を取得することによって、同学部から推薦される者

②本学の学部4年次生在籍者で、出願時のGPAが2.5点以上の者で同学部から推薦される者

5. 選抜方法

【一般選抜】

選抜方法	備 考
書類審査	入学志願票、成績証明書、研究計画書 ※1 等
筆記試験 ※2	経営学に関する専門科目
口述試験	出願書類（主として研究計画書）および筆記試験に関連した内容について行う

※1：研究計画書は日本語で記述する。

※2：筆記試験は、日本語で出題される。解答は、日本語とする。

※3：口述試験は、日本語で行う。

【特別推薦選抜】

選抜方法	備 考
書類審査	入学志願票、成績証明書、推薦書、研究計画書 ※1 等
口述試験 ※2	出願書類(主として研究計画書)に関連した内容について行う

※1：研究計画書は日本語で記述する。

※2：口述試験は日本語で行う。

6. 入学試験 時間割（予定）

9:30～9:40	9:40～11:10	13:00～
諸連絡	筆記試験	口述試験 ※1

※1：口述試験の時間割については、当日試験場にて連絡します。

※上記の試験時間から変更する場合があります。

正式な試験時間については、本学から返送された受験票に記載いたします。

※**特別推薦選抜**は、13：00 より口述試験を行います。**12：30 までに受付を終えてください。**

7. その他

本学の学部4年次在学者で、学部在学中に本学経済研究科の修了に必要な14単位を科目等履修生として取得見込みであり、本学経済研究科の教員に特別研究担当を内諾されている者は、本学経済研究科修士課程を1年で修了可能。

博 士 課 程

1. 専攻および入学定員

専 攻 名	入学定員
経済学・経営学専攻	3 名

2. 選抜区分および募集人員

選抜区分		募集人員
I 期入試	一 般※1	約 3 名
II 期入試	一 般※1	

※1 海外在住者については I 期のみ出願が可能

3. 入学試験日〔一般選抜〕

I 期入試	2025 年 10 月 4 日（土）
II 期入試	2026 年 2 月 21 日（土）

4. 出願資格

【一般選抜】

次の（1）を満たす者。外国人留学生については（1）と（2）を満たす者。

（1） 次の各号のいずれかに該当する者

- ①学校教育法に定める修士の学位又は専門職学位を有する者あるいは令和 8（2026）年 3 月までに取得見込みの者
- ②外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者あるいは令和 8（2026）年 3 月までに授与見込みの者
- ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者あるいは令和 8（2026）年 3 月までに授与見込みの者
- ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者あるいは令和 8（2026）年 3 月までに授与見込みの者
- ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者あるいは令和 8（2026）年 3 月までに授与見込みの者
- ⑥外国の学校、第 4 号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同以上の学力があると認められた者
- ⑦文部科学大臣の指定した者
- ⑧本大学院において、別に定める入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同以上の学力があると認めた者で、24 歳に達したもの（注）

（2）日本国以外の国籍を有する者は、本大学院生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格を取得または更新できる者

(注) 修士の学位を有していない場合であっても、本大学院における個人の能力に対する個別審査により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、24 歳に達した者については、出願することができます。該当者は、出願前に個別の入学資格審査を受けることが必要となります。詳細は 36 ページを参照してください。

5. 選抜方法

選抜区分	選抜方法	備 考
一般	書類審査	提出された修士論文その他の学術論文及び成績証明書等を総合して審査
	筆記試験	英語（語学辞書の持込使用可）※
	口述試験	提出された修士論文その他の学術論文及び研究計画書について行う

※筆記試験（英語）は日本語で解答すること。

※筆記試験に持込可能な語学辞書については、英英、英和、英中、英韓、和英、中日など、その大きさ、種類、冊数は問わないが、電子辞書類や専門分野に関する辞書等の持込は認めない。また、書き込みを行った辞書の持ち込みや、受験者間での貸借は認めない。

※TOEFL ITP 550 以上、TOEFL iBT80 以上、TOEIC 730 以上（IP も含む）のいずれかを取得している場合は、筆記試験（英語）を免除する。また、その取得を証明する書類は、2023 年以降に受験した結果のみ有効とする。

6. 入学試験 時間割

9:30～9:40	9:40～10:40	11:00～
諸連絡	筆記試験（英 語）	口述試験 ※

※口述試験の時間割については、当日試験場にて連絡します。

注：一般選抜で筆記試験（英語）を免除された者は 11：00 より口述試験を行いますので 10：30 までに受付を終えてください。

経済研究科 出願書類一覧

※◎は巻末綴込の本学所定用紙

書類	修士	博士	注意事項
◎入学志願票	○	○	日本国以外の国籍の人は、「外国人留学生用」の入学志願票にて出願してください。
◎受験票	○	○	・太線で囲まれた箇所をもれなく記入してください。 ・写真票には最近3カ月以内に撮影した写真（カラー・白黒を問わない）を貼付してください。
◎写真票	○	○	
振り込み証明書または 収納証明書	○	○	・銀行振り込みの場合：振込証明書を同封してください ・銀行以外で支払いの場合：32 ページ記載の通り、A4 の普通紙に印刷した「収納証明書」を同封してください
◎研究計画書	○	○	・博士課程志願の方は、博士課程用様式を用いてください。 ・研究計画書に記入する内容を別途作成する場合は、所定用紙に「別紙参照」と記入して、添付するようにしてください。その際の別紙は片面印刷にしてください。
学位論文	—	○	a. 修士論文の写し及びその要約（要約は日本語の場合は 8,000 字程度、英語の場合は 5,000 語程度）各 5 部 b. 修士論文のない者については、修士論文に相当する論文またはその他の学術論文 5 部 c. a または b のデータを大学院担当（daigakuin-ka@reitaku-u.ac.jp）まで送信してください
成績証明書（原本） ※必ず原本（Original） を提出	○	○	<修士課程> ・出身大学の学部成績証明書 ・大学院修了（見込）者は大学院の成績証明書も提出してください。 <博士課程> 出身大学院の博士前期課程・修士課程の成績証明書
卒業（見込）証明書・ 修了（見込）証明書 ※必ず原本（Original） を提出	○	○	<修士課程> 出身大学の学部の卒業証明書もしくは卒業見込証明書 ・大学院修了（見込）者は大学院の修了（見込）証明書も併せて提出してください。 <博士課程> 出身大学院の博士前期課程・修士課程の修了（見込）証明書
各種語学資格証明書 （資格取得者のみ）	—	該当者	・TOEIC®テスト※1 730 点以上（IP も含む） ・TOEFL®テスト※2 ITP 550 点以上、iBT 80 点以上 ※入学志願票の博士課程筆記試験免除欄の□申請する にチェックをいれてください。
住民票	外国人留学生等		海外在住者あるいは短期滞在者は、パスポートのコピーを提出してください。
大学院入学資格認定書	入学資格審査認定者		・本学大学院入学資格審査を受けて認定された者は、本学から送付した「大学院入学資格認定書」を提出してください。 ・過去に本大学院に出願をして上記認定書等を提出済みなどのために手元がない場合は、大学院事務室に申請してください。
◎推薦書	○	—	推薦者への依頼は出願期間前に余裕をもって行ってください。
◎長期履修申請書	長期履修希望者		
◎長期履修計画書	長期履修希望者		
在職等を証明する書類	長期履修希望者		

※1 Test of English for International Communication（（財）国際ビジネスコミュニケーション協会）

※2 Test of English as a Foreign Language (Educational Testing Service (ETS))

※中国での学歴等を証明する公証書は書類原本として認めません。

学校教育研究科入学試験要項

【道德教育専攻】（修士課程）

アドミッションポリシー・・・・・・・・・・ 20
出願から入学手続きまでの流れ

1. 専攻および入学定員・・・・・・・・・・ 21
2. 選抜区分および募集人員
3. 入学試験日
4. 出願資格
5. 選抜方法
6. 入学試験 時間割

学校教育研究科出願書類一覧・・・・・・・・・・ 25

【出願にあたっての注意点】

- 出願の際には出願資格をよくご確認ください
- 出願資格が満たされていない場合、および書類に不備がある場合は、出願は受け付けられません。その場合、受験料および書類の返却はできませんので、出願の際は十分にご注意ください。
- 今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況や政府の方針によっては、要項記載の内容に変更が生じる場合があります。変更が生じた場合は、本学ウェブサイトにてすみやかにお知らせしますので、出願にあたっては、必ず本学ウェブサイトに掲載された最新情報をご確認ください。

【 学校教育研究科 アドミッション・ポリシー 】

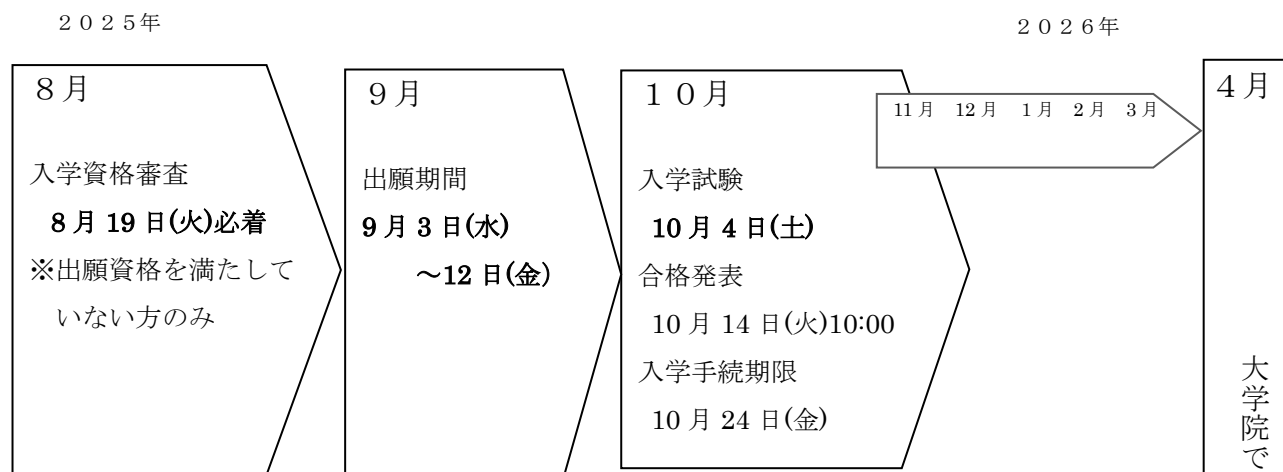
学校教育研究科 道德教育専攻では、道德教育を学校教育の中核をなすものとして捉え、道德教育のよりよい在り方への探求心を持ち、自己の品性や道德性を磨き続ける人を求めています。

- 1) 道德教育を学校教育の中核をなすものとして捉えられる人
- 2) 常によりよい道德教育の在り方への探求心を持つ人
- 3) 自己の品性や道德性を磨き続ける人

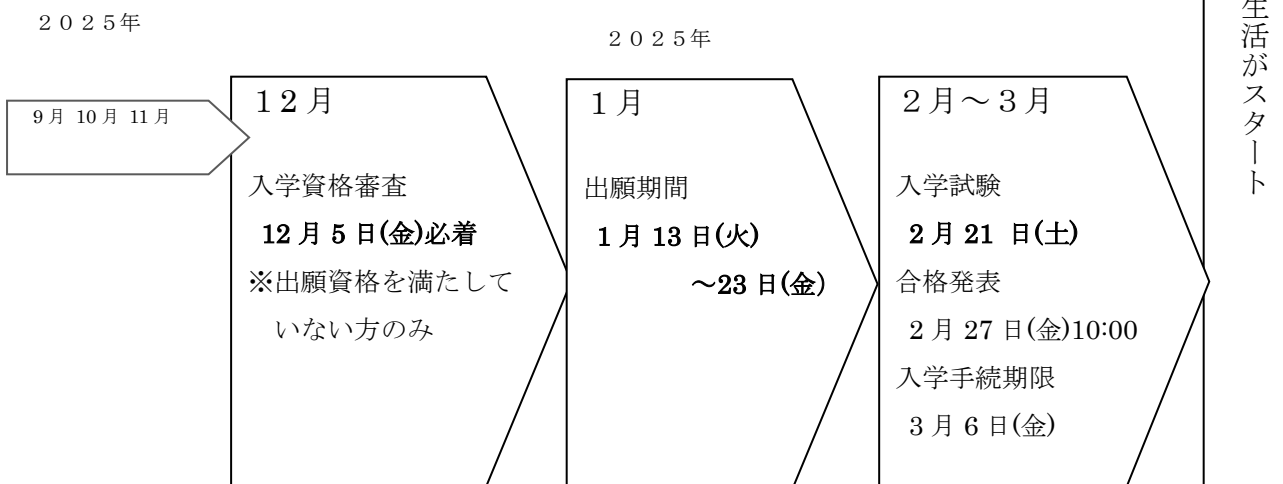
上記のような方針に基づいて入学試験科目を設定し、社会人や現職教員も含め入学者選抜を行います。

【出願から入学手続きまでの流れ】

<修士課程 I 期入試>



<修士課程 II 期入試>



1. 専攻および入学定員

専攻名		入学定員
修士課程	道德教育専攻	6名

2. 選抜区分および募集人員

選抜区分		募集人員
Ⅰ期入試	一般入試	約3名
	特別入試（現職教員※1）	
	特別入試（社会人 ※2）	
Ⅱ期入試	一般入試	約3名
	特別入試（現職教員※1）	
	特別入試（社会人 ※2）	

※1：ここでの「現職教員」とは、学校教育法で定める小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校で、教育職員免許法に定める講師以外の教育職員として、入学時に3年以上の経験を有し、在籍のまま本研究科に入学する者。指導主事等、教育機関等の職員を含む。

※2：ここでの「社会人」とは主に以下のいずれかに該当する者を指す。

- ①学校教育法で定める小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校で、教育職員免許法に定める講師以外の教育職員として、入学時の経験が1年以上3年未満の者。指導主事等、教育機関等の職員を含む（現職かどうかは問わない）。
- ②大学卒業後1年以上（出願時において）の教育職員免許法に定める教育職員の講師もしくは非常勤の講師の経験を有する者（現職かどうかは問わない）。
- ③大学卒業後1年以上（出願時において）の社会人経験を有する者（現職かどうかは問わない）。

3. 入学試験日〔一般、特別選抜（現職教員、社会人）〕

Ⅰ期入試	2025年10月4日（土）
Ⅱ期入試	2026年2月21日（土）

4. 出願資格

【一般選抜】

次の2条件を満たす者

- (1) 小学校教諭・中学校教諭1種免許状取得者もしくは令和8（2026）年3月に取得見込みの者
- (2) 次の各号のいずれかに該当する者
 - ①学校教育法に定める大学を卒業した者又は学士の学位を授与された者あるい令和8（2026）年3月大学卒業見込みの者
 - ②外国において、学校教育における16年の課程を修了した者あるいは令和8（2026）年3月までに修了見込みの者
 - ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者あるいは令和8（2026）年3月までに修了見込みの者
 - ④我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者あるいは令和8（2026）年3月までに修了見込みの者
 - ⑤外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科

学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

- ⑥専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者あるいは令和8(2026)年3月までに修了見込みの者
- ⑦文部科学大臣の指定した者
- ⑧大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの
- ⑨本大学院において、別に定める入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの(注)

【特別選抜(現職教員入試)】

次の3条件を満たす者

- (1) 小学校教諭・中学校教諭1種免許状取得者もしくは令和8(2026)年3月に取得見込みの者
- (2) 次の各号のいずれかに該当する者
 - ①学校教育法に定める大学を卒業した者又は学士の学位を授与された者あるいは令和8(2026)年3月大学卒業見込みの者
 - ②外国において、学校教育における16年の課程を修了した者あるいは令和7(2025)年3月までに修了見込みの者
 - ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者あるいは令和8(2026)年3月までに修了見込みの者
 - ④我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者あるいは令和8(2026)年3月までに修了見込みの者
 - ⑤外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - ⑥専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者あるいは令和8(2026)年3月までに修了見込みの者
 - ⑦文部科学大臣の指定した者
 - ⑧大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程(その修了者が

当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。) を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの

⑨本大学院において、別に定める入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達したもの（注）

(3) 学校教育法で定める小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校で、教育職員免許法に定める講師以外の教育職員として、入学時に 3 年以上の経験を有し、在籍のまま本研究科に入学する者。指導主事等、教育機関等の職員を含む。

【特別選抜（社会人入試）】

次の 3 条件を満たす者

(1) 小学校教諭・中学校教諭 1 種免許状取得者もしくは令和 8（2026）年 3 月に取得見込みの者

(2) 次の各号のいずれかに該当する者

①学校教育法に定める大学を卒業した者又は学士の学位を授与された者あるいは令和 8（2026）年 3 月大学卒業見込みの者

②外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者あるいは令和 8（2026）年 3 月までに修了見込みの者

③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者あるいは令和 8（2026）年 3 月までに修了見込みの者

④我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者あるいは令和 8（2026）年 3 月までに修了見込みの者

⑤外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

⑥専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者あるいは令和 8（2026）年 3 月までに修了見込みの者

⑦文部科学大臣の指定した者

⑧大学に 3 年以上在学した者、外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの

⑨本大学院において、別に定める入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達したもの（注）

(3) 次の各号のいずれかに該当する者

①学校教育法で定める小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校で、教育職員免許法に定める講師以外の教育職員として、入学時の経験が 1 年以上 3 年未満の者。指導主事等、教

育機関等の職員を含む（現職かどうかは問わない）。

②大学卒業後 1 年以上（出願時において）の教育職員免許法に定める教育職員の講師もしくは非常勤の講師の経験を有する者（現職かどうかは問わない）。

③大学卒業後 1 年以上（出願時において）の社会人経験を有する者（現職かどうかは問わない）。

（注）短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者、外国における 3 年制の大学、専科学校卒業等で学校教育における 16 年の課程に満たない場合であっても、本研究科における個人の能力に対する個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で 22 歳に達した者については、出願することができます。該当者は、出願前に個別の入学資格審査を受けることが必要となります。詳細は 36 ページを参照してください。

5. 選抜方法

選抜区分	選抜方法	備 考
一般入試	筆記試験	教育学の基礎的知識と理解力を試すもの（記述・論述）
	口述試験	主として志望理由書、研究計画書、研究業績書に基づいた内容について行う
	書類審査	志望理由書、研究計画書、研究業績書（研究業績がある方のみ）
特別入試 [現職教員]	口述試験	主として志望理由書、研究計画書、研究業績書に基づいた内容について行う
	書類審査	志望理由書、研究計画書、研究業績書（研究業績がある方のみ）
特別入試 [社会人]	筆記試験	教育学の基礎的知識と理解力を試すもの（論述のみ）
	口述試験	主として志望理由書、研究計画書、研究業績書に基づいた内容について行う
	書類審査	志望理由書、研究計画書、研究業績書（研究業績がある方のみ）

6. 入学試験 時間割（予定）

一般入試 特別入試（社会人）	9：50～10：00	10：00～11：00	12：30～
	諸 連 絡	筆 記 試 験	口 述 試 験 ※1
特別入試（現職教員）	12：00～	12：30～	
	諸 連 絡	口 述 試 験 ※1	

※1：口述試験の時間割については、当日試験場にて連絡します。

学校教育研究科 出願書類一覧

※◎は巻末綴込の本学所定用紙

書類	注意事項
◎入学志願票	入学志願票の希望指導教員名欄については、希望する指導教員が確定していない場合は、記入する必要はありません。
◎受験票	・太線で囲まれた箇所をもれなく記入してください。 ・写真票には最近3カ月以内に撮影した写真（カラー・白黒を問わない）を貼付してください。
◎写真票	
振り込み証明書または 収納証明書	・銀行振り込みの場合：振込証明書を同封してください ・銀行以外で支払いの場合：32 ページ記載の通り、A4 の普通紙に印刷した「収納証明書」を同封してください
◎研究計画書 ◎志望動機書 研究業績書 (研究業績がある方のみ)	研究計画書・志望動機書に記入する内容を別途作成する場合は、所定用紙に「別紙参照」と記入して、添付するようにしてください。その際の別紙は片面印刷にしてください。
成績証明書 ※必ず原本を提出	・出身大学の学部成績証明書 ・大学院修了(見込)者は大学院の成績証明書も併せて提出してください。
卒業(見込)証明書・ 修了(見込)証明書(原本) ※必ず原本を提出	・出身大学の卒業証明書もしくは卒業見込証明書 ・大学院修了(見込)者は大学院の修了(見込)証明書も併せて提出してください。
一種免許状を証明する書類	小学校教諭一種免許状または中学校教諭一種免許状の写しを提出してください。

《該当者のみ提出が必要な書類》

一種免許状の取得見込を 証明する書類	取得見込みの者は、小学校教諭一種免許状または中学校教諭一種免許状の取得見込証明書を提出してください。 ※証明書がない場合には、成績証明書のみで可
入学資格認定書	・本学大学院入学資格審査を受けて認定された者は、本学から送付した「大学院入学資格認定書」を提出してください。 ・過去に本大学院に出願をして上記認定書等を提出済みなどのために手元にはない場合は、大学院事務室に申請してください。
◎推薦書	・「特別入試（現職教員）」を出願する場合は、所属の学校長等の推薦書を提出してください。 ・推薦者への依頼は、出願期間前に余裕をもって行ってください。
◎長期履修学生申請書	
◎長期履修計画書	
在職等を証明する書類 ※必ず原本を提出	入学時において職業等を有している者（自営業、非常勤等を含む）は提出してください。

言語教育研究科・経済研究科・学校教育研究科 【共通事項】

出願について	27
1. 出願書類	
(1) 出願期間 (2) 提出先 (3) 出願方法 (4) 注意事項	
(5) 個人情報の取り扱いについて (6) 提出物	
2. 長期履修制度について	28
3. 研究生併願について	
4. 入学検定料の振り込み	29
(1) 入学検定料 (2) 銀行で入学検定料を振り込む場合	
(3) 銀行以外で入学検定料を納入する場合 (4) 注意事項	
・コンビニエンスストア・クレジットカード・Pay-easy (ペイジー)	
での入学検定料支払方法	31
試験・合格発表について	32
1. 試験会場	
2. 受験上の注意	
3. 合格発表	
入学手続きについて	33
1. 入学手続	
(1) 入学手続書類 (2) 入学手続期限 (3) 入学手続方法	
2. 入学辞退と納入金の返還	
3. 2026年度学校納金	34
(1) 学費等 (2) その他	
入学資格審査について	36
1. 入学資格審査の出願について	
(1) 審査書類提出期限 (2) 提出方法 (3) 必要書類	
(4) 注意事項	
2. 審査方法、審査結果の通知について	38
(1) 審査方法 (2) 審査結果の通知	
研究生制度について	39
1. 出願資格について	
2. 研究生制度の概要	
(1) 在籍期間について (2) 科目の聴講について	
(3) 学費について	
3. 出願について	40
(1) 募集要項 (2) 募集日程 (3) 検定料について	
(4) 出願について (5) 選考について	

出願について

1. 出願書類

(1) 出願期間

言語教育研究科 修士課程〈Ⅰ期入試〉	2025 年 9 月 3 日（水）～ 9 月 12 日（金） ※締切日消印有効
経済研究科 修士課程〈Ⅰ期入試〉	
経済研究科 博士課程〈Ⅰ期入試〉	
学校教育研究科 修士課程〈Ⅰ期入試〉	
言語教育研究科 修士課程〈Ⅱ期入試〉	2026 年 1 月 13 日（火）～ 1 月 23 日（金） ※締切日消印有効
経済研究科 修士課程〈Ⅱ期入試〉	
経済研究科 博士課程〈Ⅱ期入試〉	
学校教育研究科 修士課程〈Ⅱ期入試〉	

(2) 提出先

住 所：〒277-8686

千葉県柏市光ヶ丘 2 丁目 1 番 1 号 麗澤大学生涯教育プラザ棟 1 階

提出先：麗澤大学大学院事務室

(3) 出願方法

郵送での受付となります。巻末の封筒添付用宛名ラベルに必要事項を記入し、任意の封筒に貼り付けの上、出願書類を一括して封入してください。発送は、必ず書留にして締切日までに郵送してください（消印有効）。書類の確認が出来次第、受験票を返送します。

※出願書類は黒ボールペン（油性インク）で記入し、訂正する場合は二重線を引き、訂正印を押してください。フリクション等の消せるインクは使用不可です。

※出願書類はすべて原本に限ります。成績証明書、卒業証明書・修了証明書の返還を希望する者には、原本確認後に返却することもできます。希望者は巻末の「入学志願票」中の□成績証明書返却希望 □卒業証明書、修了証明書返却希望に必ず✓を記入してください。その他の書類については返還しません。

※中国での学歴等を証明する公証書は書類原本として認めません。

※日本国以外の国籍を有する者については、「入学志願票〈外国人留学生等〉」に記入してください。

(4) 注意事項

- ・出願資格や出願書類等の疑問点について、また疾病や障がい等により受験上の配慮が必要な方は、**出願する前にできるだけ早く大学院事務室へメールにて問い合わせてください**（大学院事務室メールアドレス：daigakuin-ka@reitaku-u.ac.jp）。
- ・出願後の選抜区分、志望専攻の変更は認めません。
- ・出願書類に不備がある場合には受け付けませんので、十分注意してください。
- ・一度提出された書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・Ⅰ期入試に出願してⅡ期入試に再度出願する場合も、すべての書類を改めて揃えてください。

（５）個人情報取り扱いについて

出願書類に記載された個人情報は、入学試験の実施・結果通知および個人を特定しない形で行う統計的な調査のために使用し、その取り扱いについては細心の注意を払います。

（６）提出物

出願書類は研究科ごとに異なります。

言語教育研究科は 10 ページ、経済研究科は 19 ページ、学校教育研究科は 26 ページをよく確認してください。

2. 長期履修制度について

本学大学院修士課程では、社会人で職業を有しながら就学する等（育児、親族の介護等を含む）、十分な学修時間を確保することが難しい方を対象として、修業年限を延長することで時間的負担を軽減する長期履修制度を設置しています。対象者は、一般選抜、社会人選抜、特別入試（現職教員）選抜、卒業生特別推薦の入試において合格し入学を許可された者で、以下のいずれかに該当する者となります。

- （１）入学時において職業等を有している者（自営業、非常勤等を含む）
- （２）育児、介護等の諸事情を有する者
- （３）その他当該研究科が相当の事情があると認めた者

本制度を利用した場合の学費については、35 ページを参照してください。

希望者は① 長期履修申請書（本学指定用紙）② 長期履修計画書（本学指定用紙）③ 在職を証明する書類（就業を理由に申請する場合）④ その他長期履修を必要とする事由（育児・介護等）に関する書類（育児の場合：住民票、母子手帳の写し等。介護の場合：住民票、要介護認定書の写し等）を出願期日までに提出してください。

この合否判定については、入試に併せて審査し、認定者には入学者選抜の合格発表と共に通知します。

※長期履修期間は３年もしくは４年とし、申請時に選択します。

※経済研究科 博士課程には、長期履修制度はありません。

3. 研究生併願について

研究生併願を希望する者には、大学院入試結果が不合格の場合、研究生としての受け入れ審査を行います。希望者は、志願する研究科の「入学志願票」の「研究生併願」欄の「☐併願する」に必ず✓を記入してください。

※研究生の詳細については 42 ページをご確認ください。

4. 入学検定料の振り込み

(1) 入学検定料 35,000円

(2) 銀行で入学検定料を振り込む場合

最寄の金融機関から直接下記の指定銀行口座へ上記(1)の入学検定料を振り込んでください(郵便局から振り込むことはできません)。振り込み人(志願者)名には、カタカナ名の前に言語教育研究科は「31」、経済研究科は「41」、学校教育研究科は「45」を付けてください(下記例参考)。金融機関窓口にて振り込みを依頼する場合は、各金融機関の振り込み用紙にそのように記載し、窓口係にその旨を伝えてください。振り込み後は、振り込み日付の記載がある振込証明書(コピー可)を出願資料と合わせて提出してください。なお、振込手数料や海外からの送金手数料については、志願者負担とします。

また、大学に届く検定料が不足の場合、受験資格がなくなる場合がありますので、振り込みの際は十分注意してください。

【振り込み先】

振込先銀行：三菱UFJ銀行 松戸西口支店 預金種目：普通預金 口座番号：4727444 口座名：学校法人 廣池学園 カタカナ名：ガク) ヒロイケガクエン	振込先銀行住所 〒271-0092 千葉県松戸市松戸1307-1 TEL:047-362-2115
--	--

《振り込み人(志願者)名の入力・記入例》

麗澤太郎さんが言語教育研究科に出願する場合：31レイタクトロウ

【日本国外から外国人留学生入試入学検定料を振り込む(送金する)場合】

現地金融機関から直接下記の指定銀行口座へ日本円建てで上記(1)の入学検定料(35,000円)を振り込んでください。日本円以外の通貨では受け付けできません。振り込み後は、振り込み日付の記載のある振込証書のコピーを出願書類に同封してください。なお、振込手数料並びに現地金融機関における送金手数料は、志願者負担とします。また、大学に届く検定料が不足の場合、受験資格がなくなる場合がありますので振り込みの際は、十分注意してください。

【振り込み先】 振込先銀行：三菱UFJ銀行 松戸西口支店 MITSUBISHI UFJ GINKOU MATSUDO NISHIGUCHI SHITEN 預金種目：普通預金 口座番号：4727444 口座名：学校法人 廣池学園 銀行住所：〒271-0092 千葉県 松戸市 松戸 1307-1 CHIBA-KEN MATSUDO-SHI MATSUDO	【Bank Transfer Information】 Bank: MUFG Bank, Ltd Branch: Matsudo-Nishiguchi Branch Address: 1307-1 Matsudo, Matsudo shi, Chiba, Japan Account Number: 4727444 Name of the Recipient: HIROIKE GAKUEN Swift Code: BOTKJPJT
--	---

(3) 銀行以外で入学検定料を納入する場合

①入学検定料はコンビニエンスストア・クレジットカード・Pay-easy(ペイジー)でも納入できます。

詳細については、「コンビニエンスストア・クレジットカード・Pay-easy(ペイジー)での入学検定料支払い方法」(32ページ)を参照してください。

※Web申し込みは出願期間のみ利用可能となります。

- ②「収納証明書」は A4 サイズの普通紙に印刷してください（カラー・モノクロどちらでも構いません）。
- ③出願期限日までに納入されたものを受け付けますが、各コンビニエンスストアの情報端末での操作については、期限日当日は 23 時頃までに操作を終了するようにしてください。
- ④実際の情報端末操作の手順や納入の際の手数料については、必ず「コンビニエンスストア・クレジットカード・Pay-easy（ペイジー）での入学検定料支払い方法」（32 ページ）を参照してください。

（４）注意事項

- ①現金、郵便為替等での出願は受け付けません。
- ②国外のコンビニエンスストアからの支払いはできません。
- ③一旦納入された入学検定料はいかなる理由があっても返還しません。

コンビニエンスストア・クレジットカード・Pay-easy(ペイジー) での入学検定料支払方法

Step
1

Web申し込み 必要事項を入力し、支払いに必要な番号を取得してください。

麗澤大学HPへアクセス



URL

<https://www.reitaku-u.ac.jp/admissions/shiharai/>

Step
2

お支払い方法 コンビニエンスストア、クレジットカード、Pay-easy(ペイジー)のいずれかでお支払いください。

コンビニエンスストア

現金支払い

コンビニ設置のATMは利用できません。 コンビニでは現金のみの取扱いとなります。
支払方法、コンビニは変更になる場合があります。 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

ローソン・ミニストップ LAWSON	ファミリーマート 	デイリーヤマザキ 	セイコーマート Seicomart	セブンイレブン
[Loppi]	[マルチコピー機]	[レジへ]	[レジへ]	[レジへ]
[各種番号をお持ちの方] を選択	[代金支払い]を選択	レジで 「オンライン決済」を 申し込む	レジで 「インターネット支払い」 と伝える	店員の方へ 「インターネット支払い」を する旨を伝え 「払込票番号」 を伝える (発行した「払込票」を 渡しても可)
[受付番号(6桁)]を入力し [次へ]ボタンを押す	[番号入力]を選択	レジ画面で 決済番号を入力	お客様側のレジ画面にて [受付番号][確認番号] を入力	
お申込み時に登録した 電話番号を入力し 「次へ」を押す	[第1番号(5桁)] [第2番号(12桁)] を入力	内容確認後 レジでお支払い	支払内容の 確認画面が表示	
内容確認後 「了解」ボタンを押す	端末から出力された 申込券を持って レジでお支払い		OKを押してお支払い	お支払い
端末から出力された 申込券を持って レジでお支払い				

金融機関ATM(ペイジー)

現金支払い/キャッシュカード

ゆうちょ銀行・pay-easy対応のATMを利用
[税金・各種料金(ペイジー)]を選択
収納機関番号を入力
お客様番号・確認番号を入力
支払い方法を選択(現金またはキャッシュカード)し、 検定料を支払う



※現金取扱いの場合は、検定料の総額が
10万円未満の場合のみ支払いが可能です。
10万円を超える場合は、キャッ
シュカードを利用してください

クレジットカード

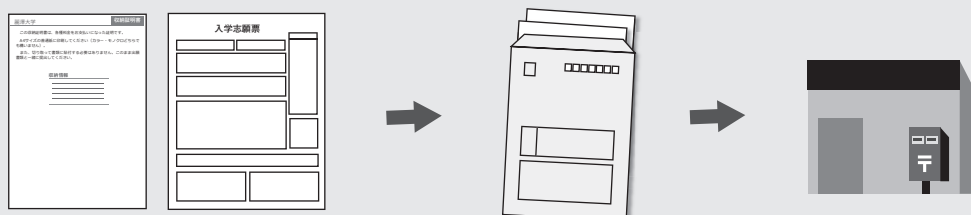


VISA, Master, JCB, American Express, Diners
※カードの名義人は受験生本人でなくとも構いません

Step
3

出願 (※入学検定料の支払いだけでは手続き完了になりません)

支払完了後、マイページにアクセスし「収納証明書」を印刷してください。
入学試験要項を確認して出願書類を準備し、出願期間内に郵送してください。



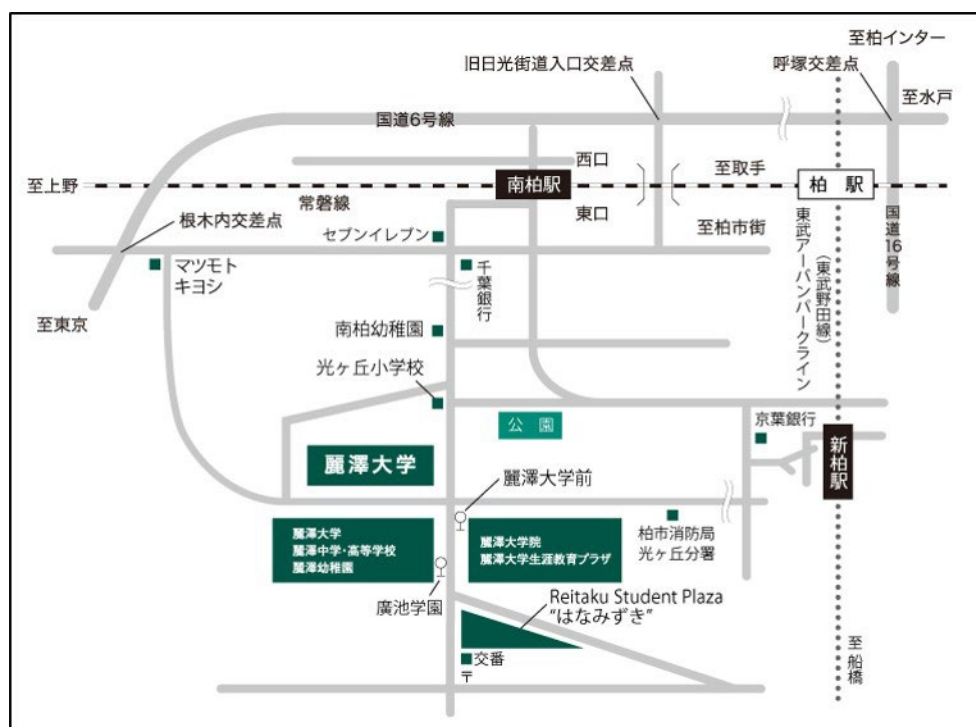
- 各入試の支払期間をご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 一度お支払いされた入学検定料は、一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

試験・合格発表について

1. 試験会場

- (1) 公共交通機関をご利用ください。
- (2) 試験会場の下見は、建物の位置確認のみ認めます。建物内に入ることはできません。

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1 麗澤大学生涯教育プラザ



2. 受験上の注意

- (1) 試験会場へは午前9時00分から入場できます。
- (2) 遅刻した場合は試験開始後30分まで入室を認めます。
- (3) 受験票を必ず携行し、試験中は常に机上に提示しておいてください。

3. 合格発表

修士課程〈Ⅰ期入試〉	2025年10月14日(火) 10:00
博士課程〈Ⅰ期入試〉	
修士課程〈Ⅱ期入試〉	2026年 2月27日(金) 10:00
博士課程〈Ⅱ期入試〉	

①合格者の受験番号は、ホームページにて案内します。

麗澤大学大学院ホームページ <http://gs.reitaku-u.ac.jp/>

※合格発表掲載期間は合格発表日を含めて7日間です。

②合格者には、合格通知書とともに入学手続書類を速達で郵送します。

③郵便・電話等による問い合わせには応じません。

入学手続きについて

1. 入学手続

(1) 入学手続書類

入学手続書類および手続方法の詳細については、合格通知に同封する「入学手続要項」に従ってください。

(2) 入学手続期限

修士課程〈Ⅰ期入試〉	2025年10月24日(金) (締切日消印有効)
博士課程〈Ⅰ期入試〉	
修士課程〈Ⅱ期入試〉	2026年3月6日(金) (締切日消印有効)
博士課程〈Ⅱ期入試〉	

※所定の期日までに入学手続を完了しない場合は入学資格を失います。

(3) 入学手続方法

- ・合格者は所定の期日までに学費等を所定の金融機関に振り込み、その「振込受付証明書」を含む入学手続書類を大学院事務室へ郵送して入学手続を完了してください。
- ・修士〈Ⅰ期入試〉・博士〈Ⅰ期入試〉では、申し出により入学金のみを入学手続期限までに納め、その他の学費等納付金については2026年3月6日(金)まで納入を延期することができます(海外在住者を除く)。
- ・詳細は合格者に交付する「入学手続要項」を参照してください。

※一旦納入された入学金および提出書類は、いかなる理由があっても返還しません。

2. 入学辞退と納入金の返還

- (1) 合格者が学費等を納入した後に入学を辞退する場合は、入学辞退期限までに本学所定の「入学辞退届」で任意の封筒を使用し簡易書留にて申し出てください。入学辞退の期限内の消印があるものに限り、授業料、施設費、諸会費(送金手数料を差し引く)を辞退期限が過ぎてから返還します。なお、入学金は返還しません。

※休日・祝祭日等で最寄りの郵便局窓口が閉じている場合は、時間外窓口営業を行っている郵便局を利用してください。

(2) 入学辞退期限

2026年3月31日(火) (締切日消印有効)

3. 注意事項

- (1) 入学手続き完了後であっても、入学前に不正行為等が発覚し、学内推薦にふさわしくないと本研究所が判断した場合、入試の合格を取り消すことがあります。

4. 2026年度学校納金（予定）

（１）学費等

①修士課程

費 目		金 額（年 額）	納 入 期 限	
			入学手続時	第1学期終了日まで
学 費	入 学 金	200,000 円（初年度のみ）	200,000 円	—————
	授 業 料	720,000 円	360,000 円	360,000 円
	施 設 費	300,000 円	150,000 円	150,000 円
	小 計	1,220,000 円	710,000 円	510,000 円
諸 会 費	後 援 会 費	30,000 円	30,000 円	—————
	麗澤会入会金	20,000 円（初年度のみ）	20,000 円	—————
	小 計	50,000 円	50,000 円	—————
合 計		1,270,000 円	760,000 円	510,000 円

②博士課程

費 目		金 額（年 額）	納 入 期 限	
			入学手続時	第1学期終了日まで
学 費	入 学 金	200,000 円（初年度のみ）	200,000 円	—————
	授 業 料	710,000 円	355,000 円	355,000 円
	施 設 費	300,000 円	150,000 円	150,000 円
	小 計	1,210,000 円	705,000 円	505,000 円
諸 会 費	後 援 会 費	30,000 円	30,000 円	—————
	麗澤会入会金	20,000 円（初年度のみ）	20,000 円	—————
	小 計	50,000 円	50,000 円	—————
合 計		1,260,000 円	755,000 円	505,000 円

※消費税は課されません。

※すでに麗澤会員の方は、麗澤会入会金は不要です。

※長期履修学生の学費は、標準修業年限2年分の授業料と施設費を、希望する長期履修期間（3年もしくは4年）で除した額を、年度ごとに納入します。入学金と諸会費は変わりません。

【関係諸団体について】

後援会	在学生の父母又はこれに準ずる方々で組織され、本学と密接な連携をとりながら、本学発展のための教育活動および学生生活充実のための支援を行っています。また、会員相互の親睦をはかり、学生と共に成長し合える、諸活動を企画・実施しています。
麗澤校友会 (麗澤会)	麗澤各校在學生と卒業生で構成されている同窓会組織です。本会では、「会員相互の親睦」「知徳の研鑽」「母校の発展に寄与する」ことを願って、会報の発行や同窓会開催支援、母校の諸活動への援助・支援等の事業と活動を展開しています。なお、在学中の年会費は免除されます。

(2) その他

本学では、教育・研究体制の充実発展のために、任意の寄付金募集を行っております。
入学後に改めてご案内しますので、ご協力をお願いします。

入学資格審査について

修士課程の出願資格のうち「本大学院において、別に定める入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者」、または、博士課程の出願資格のうち「本大学院において、別に定める入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者」により出願しようとする者については、出願前に個別の入学資格審査を行います。下記の要項に従って所定の期日までに必要書類を提出してください。

入学資格審査によって、修士課程では、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者、博士課程では、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者について、出願を受け付け、受験を許可します。

1. 入学資格審査の出願について

(1) 審査書類提出期限

修士課程〈Ⅰ期入試〉	2025年8月19日(火) ※必着
博士課程〈Ⅰ期入試〉	
修士課程〈Ⅱ期入試〉	2025年12月5日(金) ※必着
博士課程〈Ⅱ期入試〉	

(2) 提出方法

次頁(3)の必要書類を任意の封筒に一括して封入し、封筒表面に「大学院入学資格審査申請書在中」と朱書きして、上記(1)の期限までに書留にて郵送してください(期限日必着)。

なお、申請書等に記載された個人情報、入学資格審査の実施・結果通知および個人を特定しない形で行う統計的な調査のために使用し、その取り扱いについては細心の注意を払います。

※注意点

志願する研究科の出願条件や試験方法等を予め確認した上で、入学資格審査の出願をしてください。

(3) 必要書類

※書留にて郵送してください。

◎は巻末綴込の本学所定用紙

【言語教育研究科】

必要書類	備 考
◎入学資格審査申請書	巻末の本学所定用紙を使用。 太線で囲まれた箇所をもれなく記入してください。
最終出身学校の成績証明書	—
最終出身学校の卒業証明書	—
◎小論文	巻末の本学所定用紙を使用。 【テーマ】これまでに専攻したこと、あるいはこれから大学院で専攻しようとする内容に関連した内容について 2,000 字以上 にまとめたもの。 (雑誌等に公刊された研究論文または最終出身学校の卒業論文がある場合はそのコピーでも可) ※日本語のみ受付可 ※Word 文書添付の場合は、「別紙参照」と所定用紙に記入し、Word 文書の最後に文字数を記入してください。

【経済研究科】

必要書類	修士 課程	博士 課程	備 考
◎入学資格審査申請書	○	○	巻末の本学所定用紙を使用。 太線で囲まれた箇所をもれなく記入してください。
最終出身学校の成績証明書	○	○	—
最終出身学校の卒業証明書	○	○	—
◎小論文	○	—	巻末の本学所定用紙を使用。 【テーマ】これまでに専攻したこと、あるいはこれから大学院で専攻しようとする内容について 論述したもの (日本語の場合 5,000 字以上、英語の場合 1,500 語以上) ※雑誌等に公刊された研究論文がある場合はそのコピーでも可 ※Word 文書添付の場合は、「別紙参照」と所定用紙に記入し、Word 文書の最後に文字数を記入してください。
論文及び要約	—	○	これまでに専攻したこと、あるいはこれから大学院で専攻しようとする内容に関連したテーマについてまとめた論文及び要約(要約は日本語の場合 8,000 字程度、英語の場合 1,200 語程度) ※雑誌等に公刊された同等以上の研究論文がある場合はそのコピー及び 2,000 字程度の要約でも可

【学校教育研究科】

必要書類	備 考
◎入学資格審査申請書	巻末の本学所定用紙を使用。 太線で囲まれた箇所をもれなく記入してください。
最終出身学校の成績証明書	—
最終出身学校の卒業証明書	—
◎小論文	巻末の本学所定用紙を使用。 【テーマ】これまでに専攻したこと、あるいはこれから大学院で専攻しようとする内容に関連した内容について 2,000 字以上 にまとめたもの。 (雑誌等に公刊された研究論文または最終出身学校の卒業論文がある場合はそのコピーでも可) ※Word 文書添付の場合は、「別紙参照」と所定用紙に記入し、Word 文書の最後に文字数を記入してください。

(4) 注意事項

- ①入学資格審査および提出書類等について疑問がある場合は、書類を提出する前にできるだけ早く大学院事務室（メールアドレス：daigakuin-ka@reitaku-u.ac.jp）へ問い合わせてください。
- ②提出書類に不備がある場合には受け付けませんので十分注意してください。
- ③出願書類はすべて原本に限ります。成績証明書、卒業証明書の返還を希望する者には、原本確認後に返却することもできます。希望者は巻末の「麗澤大学大学院 入学資格審査申請書」の中の□成績証明書返却希望 □卒業証明書返却希望に必ず✓を記入してください。その他の書類については返還しません。なお、中国での学歴を証明する公証書は原本として認めません。
- ④必要書類のうち、成績証明書、卒業証明書については、入学資格が認定された場合には、大学院入学試験の出願書類の一部として流用することができます。希望者は出願の際に大学院事務室まで連絡してください。
- ⑤提出前に、小論文が必要文字数になっているか十分確認してください。
- ⑥入学資格審査料は不要です。

2. 審査方法、審査結果の通知について

(1) 審査方法

書類審査（提出書類により審査します）

(2) 審査結果の通知

以下の日付以降に、入学資格審査申請書に記入されているメールアドレスの宛先へメール連絡にて通知します。

※「大学院入学資格認定書」は後日発送します。出願期間中の為、審査結果のメール連絡があり次第、出願書類を準備して発送してください。

合格した場合、「大学院入学資格認定(済)」と入学志願票の学歴欄に必ず記載してください。

修士課程〈Ⅰ期入試〉	2025年9月10日（水）
博士課程〈Ⅰ期入試〉	
修士課程〈Ⅱ期入試〉	2026年1月9日（金）
博士課程〈Ⅱ期入試〉	

研究生制度について

本大学院は「麗澤大学大学院学則（第 39 条）」に基づき、特定の専門事項について高度の研究を行おうとする者があるときは、研究科の授業及び研究に支障のない限り、選考の上、研究生として入学を許可します。

1. 出願資格について

- (1) 希望する研究科の入学資格を満たしている者、または入学資格審査審査を受け入学資格が認定されている者。
- (2) 希望する研究科の大学院修士または博士課程の入学試験に出願している者

2. 研究生制度の概要

(1) 在籍期間について

1 年間（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

(2) 科目の聴講について

指導教員の指導のもと、学部・大学院科目を聴講することができます。

※単位認定は行いません。

※研究生終了後、本学へ大学院生として入学した場合、研究生在籍時に聴講した科目の単位認定を申請することができます。（経済研究科・学校教育研究科は 15 単位、言語教育研究科は 4 単位が上限となります。）

※外国人留学生（留学ビザの方）は、法務省令第 16 号に従い、1 週 10 時間（週 6 コマ）以上の聴講が必要となります。また、日本語能力に不足がある者については、日本語教育センターが開講する日本語科目の聴講を課す場合があります。

(3) 学費について

費 目	金 額	納入期限	
		入学手続時	第 1 学期終了日まで
入学金	150,000 円	150,000 円	—
研究指導	180,000 円	90,000 円	90,000 円
施設費	150,000 円	75,000 円	75,000 円
合 計	480,000 円	315,000 円	165,000 円

※振込手数料はご本人負担となります。

3. 出願について

(1) 募集要項

大学院入試の出願時に研究生を併願することができます。大学院入試結果が不合格となった場合、研究生としての受入審査を行います。

※研究生単願の入試は実施しません。

(2) 募集日程

※大学院入試時に判定をするため、大学院入学試験日と同様の日程となります。

I 期入試	2025年10月4日（土）
II 期入試	2026年2月21日（土）

(3) 検定料について

大学院入試の併願となるため、研究生の審査検定料は全額免除となります。

(4) 出願について

志願する研究科の「入学志願票」の「研究生併願」欄の「☐併願する」に必ず✓を記入してください。

(5) 選考について

書類審査、筆記試験、口述試験により総合的に審査します。